

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度第2回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成23年9月28日(水) 午後3時00分から 午後4時55分まで
開 催 場 所	吉川市役所第2庁舎 204会議室
出席委員(者)氏名	中村 信委員、矢野 義光委員、戸張 英男委員、 中田 眞矢子委員、白井 美佐子委員
欠席委員(者)氏名	大脇 利彦委員、峯尾 武巳委員
担当課職員職氏名	いきいき推進課 課長 伊東 孝 いきいき推進課 課長補佐兼 介護給付係長 本間 廣勝 いきいき推進課高齡福祉係長 曾我 幸央 いきいき推進課介護認定係長 飯田 智子 いきいき推進課介護給付係 豊田 敏昭
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	(1) 介護保険制度改革の内容と高齡者福祉・介護をめぐる 課題の検討について (2) 将来推計について (3) 高齡者福祉計画・第5期介護保険事業計画の理念 および施策体系の検討について
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	5名
会議資料の名称	1. 介護保険制度改革の内容と高齡者福祉・介護をめぐる 課題の検討について ・ 計画策定に関連した制度改正について (資料1-1) ・ (資料1-1の補足資料) (資料1-2) ・ 第5期高齡者福祉計画・介護保険事業(支援)計画 作成指針(素案)の概要について (資料1-3) 2. 将来推計について ・ 将来人口および要介護認定者の推計について(資料2) 3. 高齡者福祉計画・第5期介護保険事業計画の理念および 施策体系の検討について ・ 高齡者福祉計画・第5期介護保険事業計画<骨子案> (資料3) 参考資料: 第4期吉川市高齡者福祉計画・介護保険事業計画
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	戸張 英男委員、中田 眞矢子委員

その他の必要事項	なし
----------	----

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
開 会	
課長あいさつ	
会長あいさつ	
事務局資料確認	
議事	
中村会長	議事の前に戸張委員、中田委員を議事録署名委員に指名する。
(1)介護保険制度改革の内容と高齢者福祉・介護をめぐる課題の検討について	(事務局説明) ・計画策定に関連した制度改革(資料1-1・資料1-2)、第5期高齢者福祉計画・介護保険事業(支援)計画作成指針(素案)の概要(資料1-3)について資料に基づき説明がなされた。
矢野副会長	厚生労働省の筋書きに沿った改革という印象を受けた。制度改革や計画策定指針に書かれていることを、市としてどこまでやるかを整理する必要があると思う。一人暮らし高齢者への対応や24時間対応が必要であることは理解しているが、新たなサービスを実施するための人材や質の確保はどうするのか、地域の差をどう見ていくのか、財源はどうするのかなど具体的に検討する必要があると思う。 また、市民への理解をどう得るかも考えなければならない。国の考えに基づいた上で本市の実態に則した計画を策定する必要があると思う。
事務局	新たなサービスについては、市町村の判断に委ねられていることから、今後本市におけるサービスの提供体制や認定者数の動向の把握等を行いながら第5期計画における事業量を見込んでいく中で判断していくことになると思う。特に国では、切れ目のないサービス提供を実施することを重視しているが、そのことを市としていかに第5期計画に盛り込むか検討していくことになる。また、市民にどう理解していただくかについては、今後パブリックコメントの実施を予定している。
中田委員	新たに創設された複合型サービスを提供する場合、既存の事業所を統合するのか、あるいは新たに複合型サービス事業所を作ることになるのか。

事務局	たとえば小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせた複合型サービスの場合、ショートステイと宿泊を伴うことからそのための施設がないとできない。現在、本市には小規模多機能型居宅介護の事業所がない。複合型サービスを行うためには、既存の訪問看護の事業所が施設整備をして行うか、新たな事業所の誘致が必要になると思う。現計画でも小規模多機能型居宅介護は計画値として上げていたが、この事業だけ参入がなかった。市として必要としていても事業者がいないと提供できないので、今後も事業者の参入が進むよう、支援していきたい。
矢野副会長	精神科の病院にも認知症で入院している方がいるが、2～3か月で退院を余儀なくされる。そういった方をどう救っていくかも考えていかなければならない。
中田委員	理想だけでなく、吉川市ができることを小さいことであってもしっかり行っていくことが大切であり、計画に盛り込んでいけたらよいと思う。
中村会長	国から示されているものは、理想論でもあり、表現も難しい。計画については、高齢者はもとより家族にも理解していただかなければならない。難しいことではあるが、中田委員がおっしゃったように、少しでも吉川市らしさを出した計画としていければと思う。
(2) 将来推計について	(事務局説明) ・将来人口および要介護認定者の推計（資料2）について資料に基づき説明がなされた。
矢野副会長	将来人口の推計については、作成中の第5期総合振興計画におけるコーホート変化率法による推計とのことであるが、吉川美南駅ができて住宅等も増えることになるが、それらについても見込まれているか。
事務局	現在進行している区画整理事業等については見込んでいる。吉川美南駅周辺のJR武蔵野線操車場跡地の開発による影響については、第5期総合振興計画では長いスパンで加味しているが、高齢者福祉・介護保険事業計画期間中にはあまり影響はないと考える。
矢野副会長	サービス利用者の加重平均した介護度はいくつぐらいか、給付費の推計の目安としてご参考までにかがいたい。
事務局	国の推計ソフトでは、介護度別の利用人数、利用量等の実績をもとに給付費を推計するので加重平均した介護度は計算していない。
(3) 高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画の理念およ	(事務局説明) ・高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画の骨子案（資料3）について資料に基づき説明がなされた。

<p>び施策体系の検討について</p> <p>矢野副会長</p> <p>事務局</p> <p>(4)その他</p> <p>閉 会</p>	<p>高齢者福祉計画と介護保険事業計画がいっしょになっているということか。また、地域包括ケアの推進を重点目標とするとあり、地域の絆を醸成するという雰囲気が出ており、必要なものはだいたい含まれていると感じたが、低所得者対策について、例えば養護老人ホームへの措置などはどうなっているか。</p> <p>両計画の関係性については、高齢者福祉計画の中に介護保険事業計画が包含されているものである。また、養護老人ホームの措置制度については、老人福祉法の中で規定されているため、章立てはしていないが含んでいる。その他の低所得者対策については、介護保険事業と、一般会計の事業においてそれぞれ地域支援対策として計画していく予定である。</p> <p>次回の開催予定は、11月中旬を予定している。</p>
--	---

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成23年11月16日

署名委員 戸張 英男

署名委員 中田 眞矢子